

# トコラボ To-Collabo 通信

Tokai university Community linking laboratory

vol.

4

## 14年度「地域志向教育研究経費」採択課題が決まる ——4計画8事業に32件を採択

2014年度の「地域志向教育研究経費」採択課題がこのほど決まりました。これは、文部科学省「地(知)の拠点整備事業」の一環として、地域の活性化、地域への貢献を目的とし、その主旨である地域を志向した教育の推進につながる活動であることを理解した取り組みを学内公募し、活動費を助成するものです。本学が展開している「To-Collaboプログラム」の4計画8事業に基づいて52件の応募があり、このうち32件を採択しました。

なお、今年度からは研究活動に対する取り組みに加え、教育活動と社会貢献活動に関する取り組みも募集対象としたほか、【タイプ1】2人以上のメンバーで行う取り組み(支給金額は1件あたり上限50万円)、【タイプ2】5人以上のメンバーかつ所属組織と地域を横断している取り組み(支給金額は1件あたり上限300万円)の2つタイプを新たに設定しました。いずれも活動期間は2015年3月31日までです。

採択にあたっては、運営委員会の下に設置した専門委員会

による評価結果をもとに、5月20日に2014年度の第1回評価委員会において審議しました。写真。利根川昭委員長(大学評価室長)の司会進行のもと、平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町の行政関係者をお招きして採択案を作成。翌日の運営委員会(委員長:山田清志副学長)で承認されました。

※採択結果はP2~3に掲載



### 文部科学省「地(知)の拠点整備事業」

「大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学を支援することで、課題解決に資するさまざまな人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ること」を目的としています(文科省資料より)。平成25年度は319件の申請があり、52件が採択(私立大学では180件中、15件が採択)されました。事業期間は平成29年度までの5年間の予定です。



## 2年目を迎えて活動の本格化を推進

「To-Collaboプログラム」は、文部科学省の採択を受けて昨年度から5年計画で進めている東海大学の新たな地域連携プロジェクトです。今年4月には推進室が発足。このほど2014年度「地域志向教育研究経費」の採択課題も決まりました。今後は引き続き学内の各関係機関や地域の皆さまの協力を仰ぎながら、その活動を本格化させていきたいと考えています。これに先立ち、5月には高輪校舎のある東京都港区と連携協力に関する基本協定を締結しました。これから

も連携地域を広げて活動の幅を広げていくとともに、To-Collaboをより多くの皆さまに知っていただくことを目的とした広報活動にも力を入れていく所存です。To-Collaboでは社会貢献や研究など多岐にわたる活動を展開していきますが、その根底にあるのは創立者・松前重義博士が掲げた「明日の歴史を担う強い使命感と豊かな人間性を持った人材を育てる」という建学の精神です。本学がこれまでに築き上げた実績をもとに、全学をあげてこれを推進していく——推進室はそのための「つなぎ役」としての役割を果たしていきたいと思っています。

東海大学学長補佐 (To-Collabo 担当)  
To-Collabo 推進室室長 梶井龍太郎

# 2014 年度「地域志向教育研究経費」8 校舎から 32 件を採択

今年度に採択された取り組みの内訳は、地域デザイン計画 8 件、ライフステージ・プロデュース計画 10 件、観光イノベーション計画 8 件、エコ・コンシャス計画 6 件の合計 32 件です。分野別では研究分野が 7 件、教育分野が 8 件、社会貢献分野が 17 件。タイプ別ではタイプ 1 が 23 件、タイプ 2 が 9 件となっています。採択された

取り組みについては、今年度内に開催予定の中間報告会および最終報告会で成果を発表すること、来年 2 月下旬までに成果報告書および会計報告書を提出すること(経費の使途、金額を証明できる書類などを学内規程に基づき提出すること)が定められています。

## 大学と地域をつなぐ 4 計画・8 事業



関連事業	分野	タイプ	取組課題名	代表者所属校舎	代表者所属	代表者氏名		
地域デザイン	安心安全	教育	1	心理教育相談室を中心とした 大学生メンタルサポーターの養成	湘南校舎	文学部心理・社会学科	芳川玲子 教授	
			1	大学近隣地区住民の防災意識向上と 地域連携に向けた実践	湘南校舎	チャレンジセンター	崔一英 教授	
		社会貢献	2	大学病院と地域医療機関の連携による在宅医療の推進	伊勢原校舎	医学部医学科内科学系	小澤秀樹 准教授	
			2	地震・豪雨等による自然災害に関する 防災・減災及び救援	湘南校舎	工学部土木工学科	杉山太宏 教授	
	ブランド創造	教育	1	駿河湾の幸「駿河湾三宝」を極める、 伝える総合的教育研究プログラム	清水校舎	海洋学部水産学科	落合芳博 教授	
			1	学生による平塚市広報のための PR 映像の制作	湘南校舎	文学部広報メディア学科	小泉真人 教授	
		研究	1	阿蘇地域に適した高機能性ヤーコン品種の育成	阿蘇校舎	農学部応用植物科学科	松田 靖 准教授	
		社会貢献	1	海洋資源開発の拠点港づくりに関する 社会連携システムの構築	清水校舎	海洋学部海洋フロンティア 教育センター	篠原正人 教授	
	ライフステージ・プロデュース	大学開放	教育	1	大学公開講座におけるアクティブ・ラーニング導入と 講座効果向上のための研究 (2)	湘南校舎	情報理工学部情報科学科	長 幸平 教授
				1	医学部と伊勢原市立子ども科学館による 生命科学実習を通じた地域連携	伊勢原校舎	医学部医学科基礎医学系	阿部幸一郎 准教授
2			地域の初等中等教育を中心とした理数系教育の実践	湘南校舎	教養学部人間環境学科	内田晴久 教授		
研究		2	多世代コミュニティとの交流機会を広げるための 実践研究	湘南校舎	チャレンジセンター	岡田 工 教授		
社会貢献		1	湘南キャンパスを開放した多文化保育・子育て支援活動	湘南校舎	教養学部国際学科	小貫大輔 教授		

関連事業	分野	タイプ	取組課題名	代表者所属校舎	代表者所属	代表者氏名	
ライフステージ・プロデュース	大学開放	社会貢献	2	世代を超えた知の共有を目指したパブリックアチーブメント型教育プログラムの構築	高輪校舎	高輪教養教育センター	福崎 稔 教授
			2	市民工房 Fab・Tokai 設立プロジェクト	湘南校舎	工学部機械工学科	落合成行 准教授
			2	芸術による大学開放を目的とした多世代交流の創出	湘南校舎	教養学部芸術学科	池村明生 教授
	スポーツ健康	研究	1	東海大学市民健康スポーツ大学の市民参加者の健康データの解析	伊勢原校舎	健康科学部看護学科	沓澤智子 教授
		社会貢献	1	地域住民の運動習慣形成を目的とするヘルス・コミュニケーション活動による支援	湘南校舎	体育学部生涯スポーツ学科	吉川政夫 教授
	観光イノベーション	地域観光	社会貢献	1	パブリックアチーブメント教育を通じた三保の地域観光クリエイター育成	清水校舎	海洋学部環境社会学科
1				平塚北西部人口減少想定地域における「産官学民」協働型観光まちづくり計画	代々木校舎	観光学部観光学科	田中伸彦 教授
1				Sapporo Team Adventure Mobile Phone (S.T.A.M.P.) Rally	札幌校舎	国際文化学部国際コミュニケーション学科	ハミルトン マーク C. 准教授
1				地域に学び地域に貢献する情報技術教育システムの構築	湘南校舎	情報理工学部情報科学科	高雄元晴 教授
1				大磯町ニューツーリズム体験イベントプロジェクト	代々木校舎	観光学部観光学科	菅井克行 教授
1				国際観光地をめざす伊勢原市に対する観光振興支援	湘南校舎	外国語教育センター第二類	田辺加恵 講師
2				広域観光のディスティネーション・マネジメントを通じた地域振興	代々木校舎	観光学部観光学科	松本亮三 教授
芸術化	研究	1	伊勢原市大山町・秦野市蓑毛における大山信仰の文化的景観に関する調査研究	湘南校舎	工学部建築学科	小沢朝江 教授	
エコ・コンシャス	ハエネルギスト!	研究	2	島国・火山国日本における先進的発電技術を用いた創エネルギープロジェクト	湘南校舎	工学部航空宇宙学科 航空宇宙学専攻	福田紘大 准教授
		社会貢献	1	三保松原の保全に向けた松葉の木質バイオマスガス化発電への利活用	清水校舎	海洋学部環境社会学科	田中博通 教授
	動植物保護	教育	2	阿蘇地域における絶滅危惧生物の保全のための環境教育法の開発	阿蘇校舎	農学部応用植物科学科	村田浩平 准教授
		研究	1	神奈川県絶滅危惧種シウリザクラの衰退調査と保全対策の検討	湘南校舎	総合教育センター	谷 晋 教授
		社会貢献	1	収蔵コレクションは地域をつなぐ：佐藤武之「阿蘇・九州の野の花」コレクションと三宅純一「世界の昆虫」コレクション	熊本校舎	経営学部観光ビジネス学科	阿部正喜 教授
1	秦野市立中学校で行う動植物の保護に関する法教育授業	湘南校舎	法学部法律学科	石田清彦 教授			

## 港区と連携協力に関する基本協定を締結 地域社会と学術研究の発展を目指す

東海大学の高輪校舎がある東京都港区と、連携協力に関する基本協定を締結しました。この協定は区と大学が相互の資源を活用し、地域社会および学術研究の発展に寄与することを目指すものです。5月8



日に港区役所で行われた締結式には、港区の武井雅昭区長、田中秀司副区長、本学の高野二郎学長、田中康夫副学長ら関係者が多数出席。武井区長と高野学長が協定書を取り交わしました。高野学長は、「本学は昨年度から文部科学省の『地(知)の拠点整備事業』に採択されるなど、全国の各キャンパスで地域と連携して学生の社会的実践力育成に努めています。今後はTo-Collaboプログラムの連携範囲を港区全域に拡大し、市民の方々に身近な大学として地域貢献を果たすとともに、教育研究のさらなる充実を図っていききたい」と話しました。

### インフォメーション

#### 東海大学サテライトオフィス地域連携講座 6、7月のご案内 受講料無料

小田急線「東海大学前駅」徒歩1分にある東海大学サテライトオフィスでは、「To-Collaboプログラム」を推進する地域貢献活動の場として、

6月から地域連携講座を開講します。地域の皆さまとともに考え、協力し、地域と大学の交流の活性化を目指しています。皆さまの参加を心からお待ちしております。

#### ◆入門! オールドレンズで楽しむデジタルカメラ

6月18日(水)15時~16時30分 / 講師: 渡辺哲生(教養学部芸術学科教授) / デジタルカメラの発達によって、20世紀に活躍したオールドレンズが再び使えるようになりました。撮影の仕組みと楽しさを、作例をもとに解説します

#### ◆入門! 「古代エジプト入門」~鈴木コレクションに見る古代世界~

6月20日(金)13時~14時30分 / 講師: 山花京子(文学部アジア文明学科准教授) / 第1回「古代エジプトの魅力とは」 / 講座を始めるにあたり、これからの注目ポイントをダイジェストで紹介します

#### ◆VIVA! 土いじり!! ~Terra(テラ)-Cotta(コッタ)によるオブジェ制作~

7月16日(水)13時~17時 / 講師: 吉村維元(教養学部芸術学科准教授) / 材料費200円 / 粘土を用いて成形し素焼きでオブジェを制作します。立体・半立体(レリーフ)など形態は不問。アイデアを用意しておく◎

#### ◆入門! 「古代エジプト入門」~鈴木コレクションに見る古代世界~

7月18日(金)13時~14時30分 / 講師: 山花京子(文学部アジア文明学科准教授)とパピルスプロジェクトの学生 / 第2回「古代エジプトのパピルス文書修復プロジェクトについて」 / 修復保存に携わっている学生が修復工程などについて画像を駆使してお話します

#### 〈申し込み方法〉

サテライトオフィスまでお電話ください。受講料は無料ですが、講座により資料代・教材費が必要な場合があります。申込期限は開講日前日の16時までとなり、25人の定員になり次第締め切りとなります。なお、受講者は秦野市、平塚市、伊勢原市、大磯町に在住・在勤者に限定させていただきます。

#### 【東海大学サテライトオフィス地域交流センター】

☎0463-78-5188 <http://www.u-tokai.ac.jp/satellite/>

### リレーエッセイ

声

#### 地域からの「To-Collabo」への期待



秦野市政策部企画課  
串田 浩 課長

「地域との共生」をテーマに取り組んでまいりました『秦野市・東海大学提携事業』は、昨年30年の節目を迎え、さまざまな記念事業を実施しました。なかでも、「大規模災害時における東海大学生による救援活動の実施に関する協定」を結ばせていただいたことは、災害時の大変大きな力となることが期待されるばかりでなく、大学と地域がともに手を携えてまちづくりを進めていくといったTo-Collaboプログラムが目指す姿そのものであると実感しています。

地域には多様な課題がありますが、これらを解決してい

くためには、地域力・市民力は欠かすことのできない重要なファクターです。

東海大学がこの事業を通じて、社会で活躍する人材の育成に取り組んでおられることは、私たち行政の立場からも非常に頼もしく、また大きな期待を寄せております。

プログラムも2年目を迎え、学内での体制も整ってきていると伺いました。この取り組みが素晴らしい成果を生み出すことを祈念いたします。

## 文部科学省 平成25年度「地(知)の拠点整備事業」採択 「To-Collaboプログラムによる全国連動型地域連携の提案」

全国にキャンパスを有する大学ならではの「全国連動型地域連携活動」を柱に、地域特有の問題や共通課題を各校舎の学部、学生、研究者が共有し協力して解決策を見いだす取り組みです。To-Collabo(トコラボ)とはTokai University Community linking laboratoryの略称で、日本全国に広がる総合大学の高等教育拠点である東海大学(Tokai University)を生かした地域連携の教育と研究および研究所(Community linking laboratory)を示しています。

### 『To-Collabo通信』vol.4 (2014年6月号)

発行: 東海大学To-Collabo推進室 URL: <https://coc.u-tokai.ac.jp/>  
〒259-1292 神奈川県平塚市北金目四丁目1番1号  
TEL: 0463-50-2406(直通) / FAX: 0463-50-2034 / E-mail: coc@tsc.u-tokai.ac.jp



東海大学が育てる「4つの力」  
「自ら考える力」「集い力」  
「挑み力」「成し遂げ力」  
イメージキャラクター リツキー